

平成 28 年度西東京市合同テロ対応訓練実施について

9. 11 同時多発テロ以降、各国でテロ対策の強化を図っているところであるが、その脅威は依然として高い状況にあり、市民等を巻き込んだ自爆及び襲撃等、あらゆる手段を用いたテロ事件が発生している。

2020 年開催の東京オリンピックでは、多くの人が競技会場並びにその周辺施設等に集まり、これを狙ったテロ事件も十分に予測されることから、国民保護に向け関係機関との連携強化を図っていく必要がある。

西東京市では、平成 19 年 4 月に市国民保護計画を策定するとともに、第 2 次総合計画においても、「危機管理体制の整備」は重要な施策と位置付けており、テロ等突発事案に素早く対応する体制の整備に向け「武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律」及び国民保護計画に基づき、警視庁及び東京消防庁と合同による実践的な対応訓練を実施する。

1 目的

西東京市、警視庁及び東京消防庁が一体となった、実効性のある総合的かつ有機的な訓練を実施し、今後の危機管理対応、指揮命令系統、職員行動要領等の構築を図ることを目的とする。

2 実施日時

平成 28 年 11 月 21 日（月）午前 9 時 30 分から正午まで

訓練開始時間：午前 10 時（雨天決行）

3 訓練会場

西東京市泉町三丁目 6 番 8 号 旧泉小学校敷地内

4 訓練の想定

隣接市所在の施設にて付近警戒中の警察官が不審者 1 名を発見するも、不審者は車両に乗車して西東京市方面に向け逃走。警察は現場の状況等からライフラインを狙ったテロ容疑事案と認定。その後、犯人は市内所在の小学校（旧泉小）内に逃走し、小学校関係者を人質に取り立て籠もったことから、同小学校周辺に立入禁止区域の設定するとともに、警察、消防、市が連携し、事案への対処、負傷者の救助、避難誘導活動等を実施する。

5 訓練参加機関

- (1) 西東京市
- (2) 警視庁（田無警察署、機動隊等）
- (3) 東京消防庁西東京消防署